

岐阜県リニア中央新幹線活用戦略の改訂方針

令和4年4月

岐阜県リニア中央新幹線活用戦略研究会



目次

1	活用戦略改訂に向けた考え方	1
2	重点的に展開する施策の見直し	2
(1)	新たな施策	2
	○リニア中央新幹線における岐阜県駅周辺地域の位置づけ	4
	○東美濃 20××年の姿（懇談会での意見を踏まえたもの）	5
(2)	既存施策の見直し	6
3	重点的に展開する施策の取組み方針	8
4	活用戦略実現に向けた推進体制	10
5	重点的に展開する施策についてのロードマップ（新事業のイメージ）	11
6	リニア活用戦略改訂に向けたスケジュール（予定）	12

1 活用戦略改訂に向けた考え方

(1) 改訂の視点

- 活用戦略策定から8年が経過したことを踏まえ、**再度、重点的に展開する施策の点検とより有効な施策を検討することとする。**
- また、同戦略策定時には想定し得なかった、**以下の新たな視点を踏まえた施策を検討することとする。**

- ・アフターコロナのライフスタイルの展望等を踏まえた、**「新次元の地方分散」**
- ・開発と規制のバランスが取れ、持続可能な地域の発展を追求する、**「SDGs」**
- ・昨年7月の静岡県熱海市の盛土崩落事故を契機に関心が高まった、**「盛土、残土などの環境対策」**

(2) 改訂の方向性

- 現活用戦略の地域づくりの方向性についての三本柱「観光振興・まちづくり戦略」、「産業振興戦略」、「基盤整備戦略」の考え方を維持しつつ、上記の(1)を踏まえ、活用戦略の実現に向け、「**重点的に展開する施策**」について見直すこととする。
- 活用戦略実現に向けた各種施策の目標年次は、名古屋開業を見据えた**短期的なもの**から、ハード整備など中・長期的なものまで幅広く、**メリハリのある取組み**が求められる。そのため、**各種施策の目標時期の可視化**を行うとともに、**ロードマップ**を作成し、関係者において共有することとする。

(3) 今後の進め方

<推進体制>

- 今回の活用戦略改訂を実のあるものとするには、リニアを活用したまちづくりの動きを一層活発化させる必要がある。そのため、県及び市町村において、**横断的に施策を調整・推進する組織づくり**のほか、関係者一丸となった**推進体制**、民間登用による**経験や人脈の活用**等キーとなる**人材確保**を検討することとする。

<財源の確保>

- 限られた財源の中、活用戦略実現に向けた施策を確実に推進するため、**県や市町村は、国費などの特定財源や民間資金の活用を十分検討**することとする。

<施策の進捗管理>

- 県及び市町村は、施策の実現に向けた**達成目標及び管理指標**を策定、**評価を毎年度実施し施策の改善**を行うこととし、本研究会において、それらを総合的に確認、**施策を推進**することとする。

<随時見直し>

- 本研究会は、社会情勢の変化等を踏まえ、**活用戦略の適宜見直し**を図るとともに、名古屋までのリニア中央新幹線開業を迎えた段階にて、活用戦略の進捗状況の検証を行うこととする。

2 重点的に展開する施策の見直し

(1) 新たな施策

東美濃地域での「住みたい岐阜県」の実現に向けて、同地域の豊かな自然環境や伝統文化、ものづくりを中心とした多様な産業、地域特有の観光資源等を十分に活かしながら、クリエイティブな人材を呼び込み、イノベーション(=新たな価値の創造)が生まれやすい地域づくり(「森のまちづくり」)を進めることとし、4つの新たな施策を検討。

①東美濃の森林や伝統文化を活かし、創造性あふれるまちづくり (「産業振興戦略」へ組み入れ)

<基本的方向性>



- 東美濃地域では、企業の研究所の誘致が進みつつあることもあり、ストレスを解消させるリアルな自然を活かした、情報通信産業やバイオなどの先端科学の研究機関等の誘致を積極的に推進する。
- また、新たなビジネスモデルを構築するスタートアップ企業の動きが活発化しており、その集積を図るため、豊かな自然や伝統的なまちなみを活かした、創造性あふれる若者、クリエイティブな人材を岐阜県に誘致する「森の中のスタートアップ拠点(仮称)」を整備する。
- 企業の独創的なアイデアをビジネスモデルとするために、大学などの学術的支援や行政による活動拠点の提供など、産学官連携による支援を行う。

<<当面の検討事項(一例)>>

- 「森の中のスタートアップ拠点(仮称)」の具体化
- 東美濃地域に立地する大学及び東海地方の大学等と一丸となった行政との連携

<<中長期的ビジョン(イメージ)>>

- 先端科学の研究関連機関等の誘致やスタートアップ企業の集積
- 東美濃地域における産学官連携拠点の設置

②防災や環境に配慮した安全・安心なまちづくり (「産業振興戦略」へ組み入れ)

<基本的方向性>



- 令和3年7月の静岡県熱海市での盛土崩落事故もあり、自然環境や災害への対応に対する社会の注目度は高まっており、今後、本格化するリニア建設工事の盛土(残土)安全対策について、沿線地域の理解が必要。
- カーボンニュートラルやSDGs推進の観点から、経済のグリーン化を推進する。例えば、土地に根差した持続可能な農業が特色ある農業景観を生み出し、その観光資源によって得た観光収入を、地域経済へ循環させ、経済波及効果を高める仕組みを構築する。
- 東美濃地域の「強み」である豊かな自然や伝統文化が、リニア開業を契機に失われることがないように、都市計画区域外での乱開発を防止するための具体的な規制手法の検討を進める。

<<当面の検討事項(一例)>>

- リニア建設工事の盛土(残土)安全対策の推進に向けた取組み
- 観光をキーとした良い循環(地元内の材料、加工、販売)の仕組みづくりの検討
- 地域の乱開発防止に向けた規制等の検討

<<中長期的ビジョン(イメージ)>>

- 農業、環境、観光の総合的な発展による持続可能な地域の実現
- 開発と規制の調和がとれ、東美濃地域の強みを活かした地域の実現

③リニア岐阜県駅及び駅周辺の「岐阜県」らしさの追求 （「基盤整備戦略」へ組み入れ）

<基本的方向性>



- ・岐阜県の東の玄関口となるリニア岐阜県駅を「**交通のハブ**」とするため、同駅を起点とした道路ネットワークやバスネットワークを強化する。
- ・リニア岐阜県駅の整備にあたって、例えば、駅から主要目的地への直通バスや、わかりやすく快適な乗降場など、**目的地までダイレクトかつ乗換が容易な交通ネットワーク**の整備を行う。
- ・また、岐阜県らしさを図るため、豊かな自然を活かした駅舎と親水公園、駅前広場の一体的設計や、駅舎を含む周辺地区の一体的デザインコントロールにより、「**自然の中の駅**」を基本コンセプトにした、**個性豊かな空間**を整備する。
- ・バスやタクシーのロータリー中心の整備から、今後急速に発展していく**M a a S**の視点を取り込み、先進的でフレキシブルな拠点を整備する。

《当面の検討事項（一例）》

- ・JR東海、県、地元等の連携と責任負担による駅及び駅周辺整備の一体的な検討
- ・リニア岐阜県駅からの巡回バスや南北軸のバス路線の強化
- ・M a a Sの視点を取り込んだ周遊観光ルートの検討

《中長期的ビジョン（イメージ）》

- ・濃飛横断自動車道全線の開通
- ・国道41号耐災害性の強化
- ・自動運転などの新しい交通システムを活用した周遊観光の実現

④職の選択肢の拡大や教育の充実等による地域を担う人づくり （「観光振興・まちづくり戦略」へ組み入れ）

<基本的方向性>



- ・子育て世代が移住を検討する際には、移住先の教育環境が重視されるため、ユニークかつ自由でありつつも、優秀な人材が育まれる**岐阜県ならではの魅力的な教育環境**の充実を図る。
- ・また、リニアという鉄道最高峰の技術分野に、県内の人材を供給するための教育環境の整備が必要である。リニア総合車両基地への人材供給に向けて、**地元の教育環境の充実**を図る。
- ・県外出身者等の地域の移住受入を進めるだけでなく、地域住民が地域内に留まってもらうため、移住者と受入れ地域や行政の間に立って、**地域の課題を解決できる人材や、NPO等の中間支援組織の育成**を推進する。
- ・あわせて、地域に愛着を持っている女性や若者の定着を図るため、情報通信産業をはじめとした**第三次産業の魅力的な職場の充実**を図る。
- ・近年の都市部から地方へ移住する「**田園回帰**」の機運の高まりを踏まえ、中山間地域の集住を図るための**小さな拠点の整備**などにより、中山間地域の魅力を引き出すことで、移住定住を推進する。

《当面の検討事項（一例）》

- ・まちづくりの課題解決に関わる人材育成に向けた、より効果的な支援の検討
- ・リニア総合車両基地への人材供給に向けた地元教育環境の充実

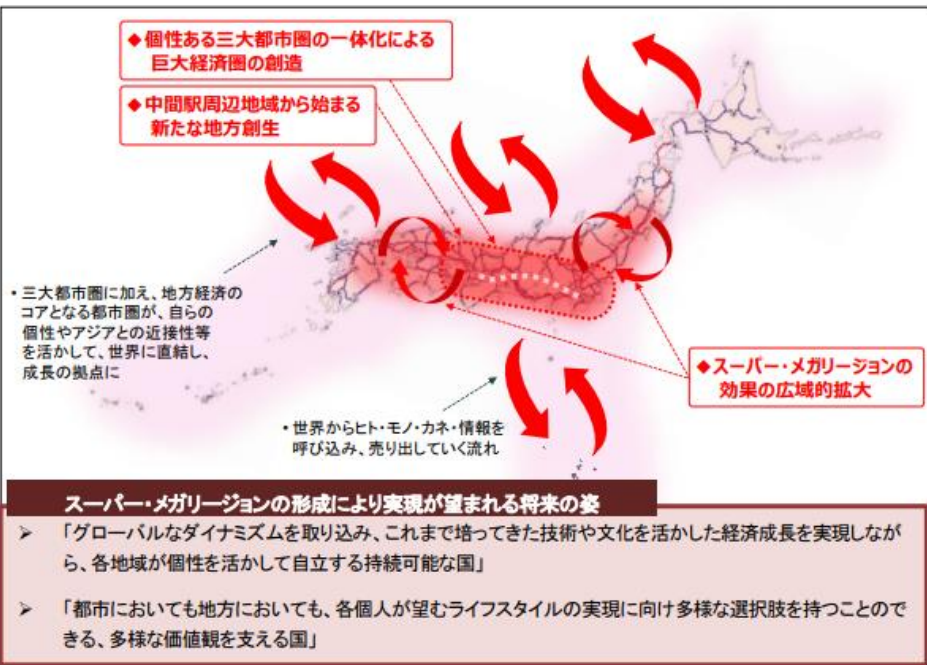
《中長期的ビジョン（イメージ）》

- ・ユニークで自由、優秀な人材が育つ教育環境の実現
- ・地域の課題を解決できるまちづくりを担う人材の育成
- ・地元で愛着を有する女性、若者の働き場の創出や起業の活性化
- ・県内外から移住定住先として選ばれる中山間地域の小さな拠点の整備

○リニア中央新幹線における岐阜県駅周辺地域の位置づけ

『スーパーメガリージョン構想』（R1.5 国交省）における中間駅の方向性

- ・多様な人材が活発に行き交いクリエイティブな交流が生まれる**新しい知的対流拠点**。
- ・高度な付加価値と周辺地域の魅力との融合による、**新しい産業の創出**や、既存産業の高付加価値化。
- ・地方の豊かな自然環境や景観、食文化等の**地域の魅力としての再認識**。
- ・ICTを活用した多様な働き方やジョブ型雇用等の普及と相まった、**大都市で働きながらの自然豊かな地域での暮らし**、ライフステージに応じた**住み替え先**。
- ・三大都市圏や他の中間駅周辺地域との対流の活発化による、地域間で相乗し補完し合う魅力的かつ持続的な圏域を形成。
- ・各中間駅から南北方向に伸びる高速道路ネットワーク化による**人流、物流のリダンダンシーの強化**、太平洋側の都市の**バックアップ**。
- ・自治体の境界を越えた広域的な連携の推進による、“**中間駅周辺地域から始まる新たな地方創生**”

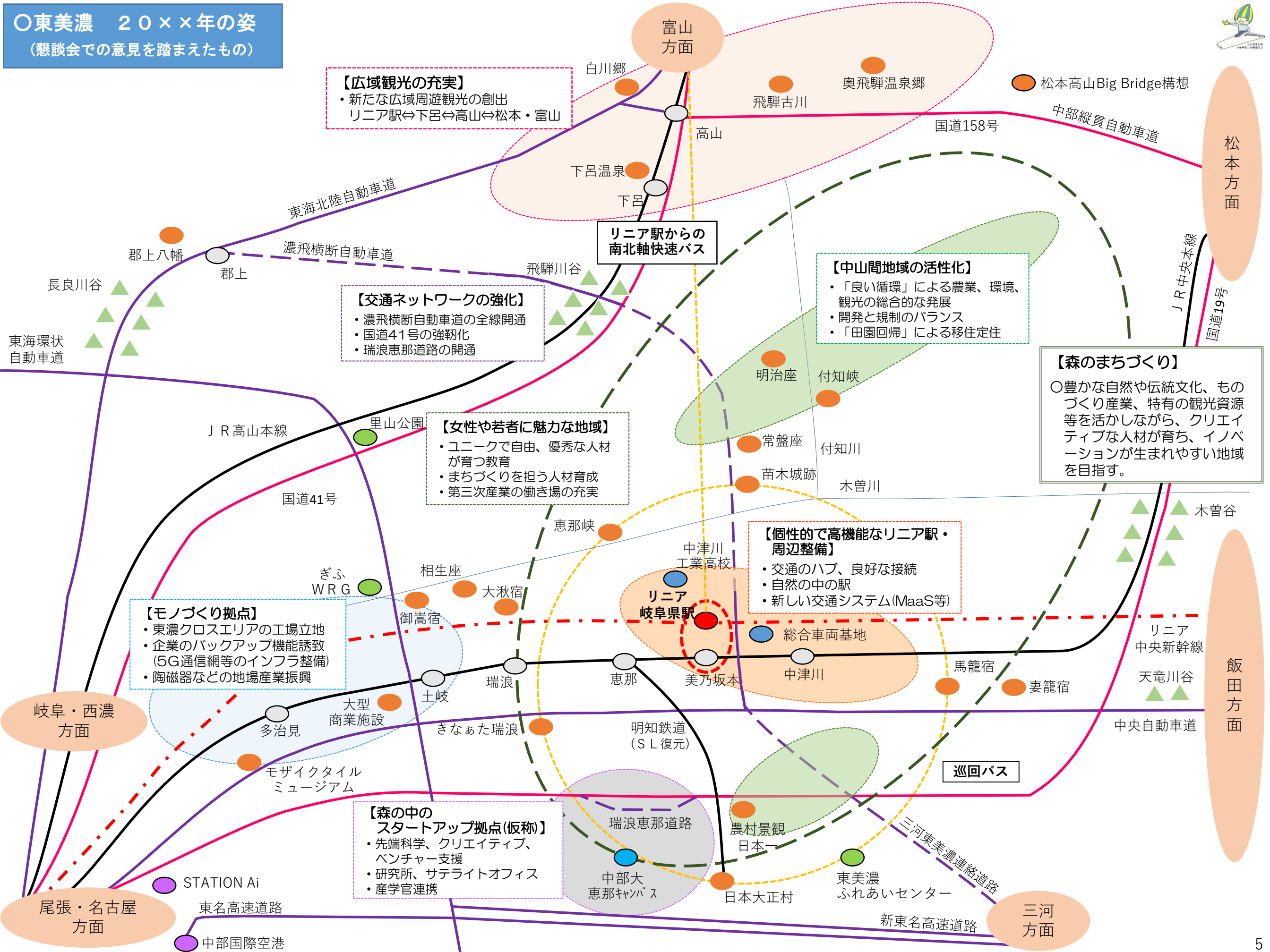


[スーパー・メガリージョン構想検討会HP]





東美濃 20××年の姿
(懇談会での意見を踏まえたもの)



【広域観光の充実】
 ・新たな広域周遊観光の創出
 リニア駅⇔下呂⇔高山⇔松本・富山

【交通ネットワークの強化】
 ・濃飛横断自動車道の全線開通
 ・国道41号の強靱化
 ・瑞浪恵那道路の開通

【女性や若者に魅力的な地域】
 ・ユニークで自由、優秀な人材が育つ教育
 ・まちづくりを担う人材育成
 ・第三次産業の働き場の充実

【中山間地域の活性化】
 ・「良い循環」による農業、環境、観光の総合的な発展
 ・開発と規制のバランス
 ・「田園回帰」による移住定住

【森のまちづくり】
 ○豊かな自然や伝統文化、ものづくり産業、特有の観光資源等を活かしながら、クリエイティブな人材が育ち、イノベーションが生まれやすい地域を目指す。

【モノづくり拠点】
 ・東濃クロスエリアの工場立地
 ・企業のバックアップ機能誘致(5G通信網等のインフラ整備)
 ・陶磁器などの地場産業振興

【個性的で高機能なリニア駅・周辺整備】
 ・交通のハブ、良好な接続
 ・自然の中の駅
 ・新しい交通システム(MaaS等)

【森の中のスタートアップ拠点(仮称)】
 ・先端科学、クリエイティブ、ベンチャー支援
 ・研究所、サテライトオフィス
 ・産学官連携

岐阜・西濃方面

尾張・名古屋方面

富山方面

松本方面

飯田方面

三河方面

(2) 既存施策の見直し



活用戦略の三本柱「観光振興・まちづくり戦略」、「産業振興戦略」、「基盤整備戦略」の既存施策について、改訂の視点を踏まえた見直しを検討。

(現) 産業振興戦略

<重点的に展開する施策>

- ・業務機能誘致、本社機能誘致
- ・行政中枢機能のバックアップ施設誘致、首都機能の一部移転
- ・工場誘致

強化

- ・車両基地の地域経済への波及効果

強化

- ・建設段階の経済効果波及

継続

(現) 基盤整備戦略

<重点的に展開する施策>

- ・アクセス道路整備
- ・駅及び駅周辺整備
- ・県内鉄道交通ネットワーク強化
- ・リニア岐阜県駅からのバスネットワーク整備

強化

(改訂案) 産業振興戦略

<重点的に展開する施策>

- ・サテライトオフィスの県内移転・誘致に向けた環境整備
【着眼点】
 - ・誘致とともに進出企業と県内の優秀な人材とのマッチング
 - ・子育て支援など生活者目線の支援の充実
- ・都市機能の一部代替を担うインフラの整備促進
【着眼点】
 - ・強固な地盤を有する本県の強みを活かしたバックアップ機能の誘致
 - ・データセンター誘致の推進（国の5G通信網の動きと連携）
- ・地域に根差した産業クラスターの集積、構築の推進
【着眼点】
 - ・起業に際して大学相談機能の強化、地域産業育成の公設試験場の設置（移転）の推進
 - ・先端科学の研究関連機関等の誘致やスタートアップ企業の集積【再掲】
- ・車両基地の地域経済への効果波及
【着眼点】
 - ・リニア関連企業の集積、既存企業のリニア部品の受注に向けた取組み
- ・建設段階の経済効果波及

(改訂案) 基盤整備戦略

<重点的に展開する施策>

- ・リニア開業を契機とする交通インフラの強化
【着眼点】
 - ・瑞浪恵那道路の早期完成による国道19号の耐災性強化
 - ・濃飛横断自動車道全線の開通、国道41号耐災害性の強化【再掲】
- ・リニア岐阜県駅の利用需要の確保
【着眼点】
 - ・パーク&ライドの推進、駐車場整備への民間活力導入
 - ・JR東海への働きかけ（リニア停車本数、在来線の強化、岐阜羽島駅停車本数など）
 - ・JR東海、県、地元等の連携と責任負担による駅及び駅周辺整備の一体的な検討【再掲】
- ・持続可能な二次交通の整備
【着眼点】
 - ・カーシェアリング、相乗りタクシー、グランピングカーなど、多様な交通手段の確保
 - ・地元企業や住民等による公共交通維持・利用促進、インバウンド観光を踏まえた公共交通
 - ・リニア岐阜県駅からの巡回バスや南北軸のバス路線の強化、Ma a Sの視点を取り込んだ周遊観光ルートの検討【再掲】

(現) 観光振興・まちづくり戦略

<重点的に展開する施策>

- ・新たな南北・東西観光軸
- ・岐阜県全域への観光振興効果の波及

強化

- ・リニアの観光資源としての活用

継続

- ・観光誘客と連携した移住・定住人口の拡大
- ・空き家オフィス活用

強化

(改訂案) 観光振興・まちづくり戦略

<重点的に展開する施策>

・観光による地域経済循環



【着眼点】

- ・岐阜の宝ものが地域の収入につながる仕組みの検討
- ・ターゲットを明確化したリピーター、長期滞在者の獲得
- ・観光をキーとした良い循環（地元内の材料、加工、販売）の仕組みづくりの検討【再掲】

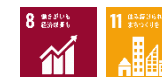
・東美濃地域内の観光資源の更なる掘り起こし、磨き上げ



【着眼点】

- ・明知鉄道のS L復活の検討
- ・「首都圏から1時間で行けるゴルフの町」をキーワードとした東美濃地域への呼び込み
- ・滞在型コンテンツの掘り起こし、2ヶ所での泊り

・東美濃地域からの広域周遊観光の創出



【着眼点】

- ・リニア岐阜県駅を中心に県内全域のほか、県境を跨いだ広域周遊観光ルートの検討（長野県松本市・南木曾町、愛知県三河地域など）
- ・リニア名古屋駅や岐阜羽島駅を活用した観光商品の開発
- ・首都圏等への情報発信

・リニア中央新幹線を活用した産業観光ルートの開発、商品造成



・移住定住人口の更なる拡大



【着眼点】

- ・移住者のほか、採用する企業への支援制度の検討
- ・県外へ流出した若者のUターン環境の整備（社会人初期段階での離職や結婚、子どもの就学のタイミング等における直接かつ定期的なアプローチ）

・リニアを活かす関係人口の拡大



【着眼点】

- ・二地域居住の推進に向け、拠点間の交通費を軽減する補助制度の創設
- ・リモートワークの普及を見据えたインフラの拡充
- ・移住者のニーズが高い古民家の空き家情報の管理
- ・地域（観光・地域・農村・産業振興等）が一丸となったワーケーションの推進

3 重点的に展開する施策の取組み方針



産業振興戦略

新規強化継続	重点的に展開する施策	今後の対応方針	通番	取組み※	関係部局	推進体制
新規	東美濃の森林や伝統文化を活かし、創造性あふれるまちづくり	「森の中のスタートアップ拠点（仮称）」の具体化	1	A	産業労働	(仮称)森のまちづくり拠点整備WG
		東美濃地域に立地する大学及び東海地方の大学等と一丸となった行政との連携の推進	2	A	交通	中部大学・東濃五市連絡協議会
新規	防災や環境に配慮した安全・安心なまちづくり	リニア建設工事の盛土（残土）安全対策の推進	3	A	交通	(仮称)リニア建設士の盛土(残土)安全対策推進会議
		観光をキーとした良い循環の仕組みづくりの実現に向けた制度設計	4	A	交通	(仮称)環境に配慮したまちづくりWG
		地域の乱開発防止に向けた規制等に関する制度設計	5	A		
強化	サテライトオフィスの県内移転・誘致に向けた環境整備	サテライトオフィスの県内移転、誘致の推進	6	対応中	産業労働	岐阜県サテライトオフィス誘致プロジェクト
		誘致とともに進出企業と県内の優秀な人材とのマッチングに向けた検討	7	B		産学官連携人材育成・定着プロジェクト
		子育て支援など生活者目線の支援の充実	8	対応中	移住定住	移住定住推進庁内連絡会議
強化	都市機能の一部代替を担うインフラの整備促進	強固な地盤を有する本県の強みを活かしたバックアップ機能の誘致の推進	9	対応中	産業労働	岐阜県サテライトオフィス誘致プロジェクト
		データセンター誘致に向けた検討（国の5G通信網の動きと連携）	10	C		東濃クロスエリア企業誘致プロジェクト推進協議会
強化	地域に根差した産業クラスターの集積、構築の推進	起業に際して大学相談機能の強化、地域産業育成の公設試験場の設置（移転）の推進	11	C	産業労働	東濃クロスエリア企業誘致プロジェクト推進協議会
		先端科学の研究関連機関等の誘致やスタートアップ企業の集積	12	B		
		業務機能誘致、本社機能誘致及び工場誘致の推進	13	対応中		
強化	車両基地の地域経済への効果波及	リニア関連企業の集積、既存企業のリニア部品の受注に向けたJ R東海への働きかけ	14	B	交通	リニア県同盟会
継続	建設段階の経済効果波及	県内企業の受注拡大及び県産品の活用の推進	15	対応中	交通	建設段階経済効果波及協議会
		建設発生土の活用の推進	16	対応中		建設発生土活用連絡調整会議

※ A=早急に対応、B=名古屋開業を見据えて対応、C=中長期的に対応

基盤整備戦略

新規強化継続	重点的に展開する施策	今後の対応方針	通番	取組み※	関係部局	推進体制
新規	リニア岐阜県駅及び駅周辺の「岐阜県」らしさの追求	J R東海、県、地元等の連携と責任負担による駅及び駅周辺整備の一体的な検討（リニア岐阜県駅及び駅周辺整備）	17	A	交通	(仮称)岐阜県らしいリニア駅・周辺整備検討会
		リニア岐阜県駅からの巡回バスや南北軸のバス路線の強化に向けた検討	18	B	交通	県地域公共交通協議会
		M a a Sの視点を取り込んだ周遊観光ルートの検討	19	B		
強化	リニア開業を契機とする交通インフラの強化	濃飛横断自動車道中津川工区の開通	20	B	土木	
		濃飛横断自動車道全線の開通	21	C		
		瑞浪恵那道路の早期完成	22	B		
		国道19号、41号の耐災性強化の推進	23	C		
		リニア開業効果を波及させるための道路ネットワークの整備推進	24	C		
強化	リニア岐阜県駅の利用需要の確保	パーク＆ライドの推進、駐車場整備への民間活力導入に向けた検討	25	B	交通	県地域公共交通協議会
		J R東海への働きかけ（リニア停車本数、在来線の強化、岐阜羽島駅停車本数など）	26	対応中		リニア県同盟会
		J R東海、県、地元等の連携と責任負担による駅及び駅周辺整備の一体的な検討（リニア岐阜県駅及び駅周辺整備）【再掲】	27	A		(仮称)岐阜県らしいリニア駅・周辺整備検討会
強化	持続可能な二次交通の整備	カーシェアリング、相乗りタクシー、グランピングカーなど、多様な交通手段の確保に向けた検討	28	B	交通	県地域公共交通協議会
		地元企業や住民等による公共交通維持・利用促進、インバウンド観光を踏まえた公共交通の検討	29	B		
		リニア岐阜県駅からの巡回バスや南北軸のバス路線の強化に向けた検討【再掲】	—	B		
		M a a Sの視点を取り込んだ周遊観光ルートの検討【再掲】	—	B		

※ A=早急に対応、B=名古屋開業を見据えて対応、C=中長期的に対応

観光振興・まちづくり戦略

新規強化継続	重点的に展開する施策	今後の対応方針	通番	取組み※	関係部局	推進体制
新規	職の選択肢の拡大や教育の充実等による地域を担う人づくり	まちづくりの課題解決に関わる人材育成に向けた、より効果的な支援の検討	30	A	地域振興	(仮称)地域を担う人づくり検討会
		リニア総合車両基地への人材供給に向けた地元教育環境の充実	31	A	交通	
強化	観光による地域経済循環	岐阜の宝ものが地域の収入につながる仕組みの検討	32	B	観光	東美濃歴史街道協議会
		ターゲットを明確化したリピーター、長期滞在者の獲得	33	対応中		
		観光をキーとした良い循環の仕組みづくりの実現に向けた制度設計【再掲】	—	A	交通	(仮称)環境に配慮したまちづくりWG
強化	東美濃地域内の観光資源の更なる掘り起こし、磨き上げ	明知鉄道のS L 復活の検討	34	C	観光	東美濃歴史街道協議会
		「首都圏から1時間で行けるゴルフの町」をキーワードとした東美濃地域への呼び込みに向けた観光商品の造成	35	B		
		滞在型コンテンツの掘り起こし、2ヶ所での泊り	36	対応中		
強化	東美濃地域からの広域周遊観光の創出	リニア岐阜県駅を中心に県内全域のほか、県境を跨いだ広域周遊観光ルートの検討(長野県松本市・南木曽町、愛知県三河地域など)	37	B	観光	東美濃歴史街道協議会
		リニア名古屋駅や岐阜羽島駅を活用した観光商品の開発	38	B		
		首都圏等への情報発信	39	対応中		
継続	リニア中央新幹線を活用した産業観光ルートの開発、商品造成	関係者の視察旅行、名古屋からの一区間体験乗車を含んだ商品の造成	40	B	観光	東美濃歴史街道協議会
		リニア鉄道館、かかみがはら航空宇宙科学博物館等、交通機関がモチーフの施設との周遊観光商品の造成	41	B		

新規強化継続	重点的に展開する施策	今後の対応方針	通番	取組み※	関係部局	推進体制
強化	移住定住人口の更なる拡大	移住者のほか、採用する企業への支援制度の検討	42	B	移住定住	移住定住庁内連絡会議
		県外へ流出した若者のUターン環境の整備に向けた検討(社会人初期段階での離職や結婚、子どもの就学のタイミング等における直接かつ定期的なアプローチ)	43	B		
		首都圏住民等の移住などに関するニーズ調査	44	対応中		
強化	リニアを活かす関係人口の拡大	二地域居住の推進に向け、拠点間の交通費を軽減する補助制度の創設	45	B	移住定住	移住定住庁内連絡会議
		リモートワークの普及を見据えたインフラの拡充	46	B	産業労働	岐阜県サテライトオフィス誘致プロジェクト
		移住者のニーズが高い古民家の空き家情報の管理	47	対応中	都市	
		地域(観光・地域・農村・産業振興等)が一丸となったワーケーションの推進	48	B	観光	

※ A=早急に対応、B=名古屋開業を見据えて対応、C=中長期的に対応

4 活用戦略実現に向けた推進体制



活用戦略の推進

リニア中央新幹線活用戦略研究会 (H23年9月設置)

- リニア活用戦略を策定し、施策の推進及び進捗管理
- 【構成員】 知事、全市町村長、経済団体や観光団体の長
- 【オブザーバー】 愛知県、山梨県、長野県、JR東海、中部地方整備局

研究会幹事会 (H25年3月設置)

- 実務者による施策の事業計画及びロードマップの調整・協議
- 【構成員】 県、全市町村の担当部長、経済・観光団体の事務局長

研究会協議会等

- 現活用戦略の3本柱について、具体的施策を推進

東美濃歴史街道協議会

東濃クロスエリア企業誘致
プロジェクト推進協議会

岐阜県地域公共交通協議会
(バスネットワーク等)

建設段階経済効果
波及協議会

(仮称)リニア建設発生土の
盛土(残土)安全対策推進会議

県内部の横断組織

リニア中央新幹線
対策本部
(H25年9月設置)

- リニア建設の円滑な推進
とリニアを活用した地域
づくり

【構成員】
知事、副知事、部局長

外部検討組織

中津川市リニア岐阜県駅
周辺デザイン会議
(R1年8月設置)

- 地元としてのリニア岐阜
県駅周辺整備の検討

【構成員】
学識経験者、地元団体、
行政関係者

重点的に展開する施策の推進

県リニア中央新幹線活用戦略ブラッシュアップ懇談会 (R3年10月設置)

- 活用戦略の実現に向けて、課題や重点的に展開すべき施策等について提言や
対応を助言
- 【構成員】 有識者9名

新規 施策の具体化に向けた検討組織 (事務局：都市公園整備局)

- 施策の取組み方針「A」のうち、推進体制がないものについて、新たに設置

【具体的な提言を目指す】

(仮称)岐阜県らしい リニア駅・周辺整備検討会

- 【検討事項】
 - ・リニア岐阜県駅及び駅周辺のデザイン
- 【メンバー】
 - ・有識者(ランドスケープ/建築/デザイン/
内装/行政)
 - ・中津川市
- 【関係者】
 - ・JR東海
- 【主な関係行政】
 - ・交通担当

【目指すべき方向性を検討】

(仮称)森のまちづくり拠点整備WG

- 【検討事項】
 - ・「森の中のスタートアップ拠点(仮称)」の
具体化
- 【メンバー】
 - ・有識者(産業/観光/都市計画)
 - ・大学
 - ・金融機関 等
- 【主な関係行政】
 - ・商工担当

(仮称)地域を担う人づくり検討会

- 【検討事項】
 - ・車両基地への人材供給に向けた地元教育
環境の充実
 - ・まちづくりの課題に関わる人材育成
- 【メンバー】
 - ・有識者(行政)
 - ・中津川市及び恵那市の商工会議所、商工
会 等
- 【関係者】
 - ・JR東海
- 【主な関係行政】
 - ・地域振興担当

(仮称)環境に配慮したまちづくりWG

- 【検討事項】
 - ・地域の乱開発防止に向けた規制等
 - ・観光をキーとした良い循環の仕組みづく
り
- 【メンバー】
 - ・有識者(景観/環境/都市計画)
 - ・まちづくり協議会、自治会
 - ・観光協会 等
- 【主な関係行政】
 - ・農林担当



5 重点的に展開する施策についてのロードマップ（新事業のイメージ）

- ・活用戦略実現に向けた各種施策の目標年次は、**短期的なものから、ハード整備など中・長期的なものまで幅広く、メリハリのある取り組みが必要。**
- ・**各種施策の目標時期の可視化及び進捗管理**を図るため、以下のロードマップ（イメージ）を参考に、施策を整理し、**今年度中に策定。**

施策名	今後の対応方針	事業名	実施主体	2022 (R4) 年度～ 2027年名古屋開業を見据えて整備						2028 (R10) 年度～ 名古屋開業5年以内を目途に整備						2033 (R15) 年度～ 中長期的な整備を検討	
				2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	2033 (R15)	2034 (R16)	2035 (R17)
東美濃の森林や伝統文化を活かし、創造性あふれるまちづくり	「森の中のスタートアップ拠点(仮称)」の具体化	東美濃地域におけるスタートアップ拠点整備事業	県市町村等	事業計画		スタートアップ成長支援モデル事業				スタートアップ成長支援事業(自主事業)							
	東美濃地域に立地する大学及び東海地方の大学等と一丸となった行政との連携の推進	東美濃地域に立地する大学等との連携推進事業	県市町村等	事業計画		産学官連携推進モデル事業				産学官連携推進事業(自主事業)							
防災や環境に配慮した安全・安心なまちづくり	リニア建設工事の盛土(残土)安全対策の推進	リニア建設工事の盛土(残土)安全対策推進事業	県市町村等	(仮称)リニア建設発生土の盛土(残土)安全対策推進会議 現場視察													
	観光をキーとした良い循環の仕組みづくりの実現に向けた制度設計	観光をキーとした良い循環の仕組みづくり推進事業	県市町村等	事業計画		地域経済循環創造モデル事業				地域経済循環創造事業(自主事業)							
	地域の乱開発防止に向けた規制等に関する制度設計	地域の乱開発防止に向けた規制等推進事業	県市町村等	事業計画		地域の乱開発防止対策モデル事業				地域の乱開発防止対策事業(自主事業)							
リニア岐阜県駅及び駅周辺の「岐阜県」らしさの追求	JR東海、県、地元等の連携と責任負担による駅及び駅周辺整備の一体的な検討(リニア岐阜県駅及び駅周辺整備)	リニア岐阜県駅及び駅周辺整備事業	県市町村 JR東海等	(仮称)岐阜県らしいリニア駅・周辺整備検討会		(仮称)岐阜県らしいリニア駅・周辺整備検討会											
			JR東海(駅舎)	設計・工事													
			中津川市(駅周辺整備)	中津川市駅周辺デザイン会議		設計				工事							
	リニア岐阜県駅からの巡回バスや南北軸のバス路線の強化に向けた検討	リニア岐阜県駅からの巡回バス運行事業	市町村等	事業計画		巡回バス実証運行				巡回バス本格運行(自主事業)							
MaaSの視点を取り込んだ周遊観光ルートの検討	MaaSの視点を取り込んだ周遊観光ルート創出事業	県市町村等	事業計画		広域周遊促進モデル事業(MaaS含む)				広域周遊促進事業(MaaS含む)(自主事業)								
職の選択肢の拡大や教育の充実等による地域を担う人づくり	まちづくりの課題解決に関わる人材育成に向けた、より効果的な支援の検討	まちづくりの課題解決に関わる人材育成支援事業	県市町村等	事業計画		まちづくり担い手人材招聘モデル事業				まちづくり担い手人材招聘事業(自主事業)							
	リニア総合車両基地への人材供給に向けた地元教育環境の充実	リニア総合車両基地への人材供給に向けた地元教育環境整備事業	県市町村等	中津川工業高校運営協議会(活性化協議会)													

改訂の視点を踏まえ、見直しを行う既存施策のロードマップの追記も実施



6 リニア活用戦略改訂に向けたスケジュール（予定）

